

--	--	--	--

事例から学ぶ“広報力”と広報効果測定の最前線

日時 2019年11月20日(水) 10:00~16:00 (5H)

会場 東京・代々木・本会内セミナー室 (右図参照)
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-8 TEL(03)3403-1972(直)

講師 広報コンサルタント、ジャーナリスト、
(株)タカオ・アソシエイツ 代表取締役社長 **高雄 宏政氏**

対象 広報ご担当者の方々



主催 **一般社団法人 日本経営協会**

開催にあたって

効果的なPR活動を行うためには、長期的な視点に立った戦略と多面的な戦術が必要です。当セミナーでは、実際に企業が行ってきたさまざまな事例をもとに、広報計画の策定から情報発信にあたっての心得、情報発信の方法、さらに広報効果の測定から危機管理に至るまで、ベテランから新人まで広く広報担当者が理解し、知っておきたい広報実務を解説いたします。

■申込・支払方法

参加申込書に必要事項をご記入のうえ、郵送又はFAXにてお申込みください。追って、振込口座名を記載した請求書と参加券をご派遣責任者(連絡担当者)までお送りします。不着の場合は必ず電話にてご確認ください。参加料のお振込みは原則として請求書に記載されましたお支払期限までお願いいたします。

- 振り込み手数料は貴社(団体)にてご負担ください。また、領収書は「振込金受領書」をもってかえさせていただきますのでご了承ください。
- 万一ご都合が悪くなった場合は代理の方がご出席ください。
- 教材は原則として当日会場にてお渡しします。
- 参加者が少数の場合、天災の場合などにおいては中止・延期させて頂く場合があります。すでにお振込の場合は、全額返金させていただきます。
- 録音録画、撮影等は原則として出来ません。ご了承ください(特記の場合を除く)。

■早割・複製について【最大4,400円(税込)割引】

- ・早割(早期申込割引)お申込みされた講座のうち、開催日がお申込み日より2ヵ月以上先の講座について参加料を1講座1名あたり2,200円(税込)割引させていただきます。
- ・複製(複数申込割引)複数名のお申込みで、参加料を1名あたり2,200円(税込)割引いたします。(ただし、同時にお申込みの場合に限ります)
- ・2019年10月1日からの消費税引き上げを前提としております。

■キャンセルについて

開催日の3営業日前からは30%、開催当日は100%をキャンセル料として申し受けます。なお、当日までに連絡が無く欠席の場合は、100%のキャンセル料となりますので、あらかじめご了承ください。

■会員入会手続きについて

入会の詳細および特典については、ホームページの「会員検索/ご入会のご案内」をご参照ください。

■WEBお申込みの流れ

- 1 一般社団法人日本経営協会 ホームページ <http://www.noma.or.jp>
- 2 「セミナー/講座」を選択
- 3 「セミナーを探す」よりカテゴリーを選択
- 4 ご希望セミナーを検索。ご希望のセミナー名をクリック。
- 5 ご希望セミナー詳細の最後の「WEB申込」からお申込み
- 6 お申込みをいただきますと、確認メールが届きます。

参加料【テキスト代含む】	参加料	消費税	合計
NOMA会員(1名)	30,000円	3,000円	33,000円
一般(1名)	37,000円	3,700円	40,700円

2019年10月1日からの消費税引き上げを前提としております。

お申込み・お問合せ先

一般社団法人 日本経営協会 企画研修グループ 池田
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-8
TEL(03)3403-1972(直) FAX(03)3403-8417
E-mail:tms@noma.or.jp URL <http://www.noma.or.jp>

一般社団法人 日本経営協会 企画研修グループ 宛
FAX (03) 3403-8417

2019年 月 日 事務局 使用欄 No.

参加申込書		「事例から学ぶ“広報力”と広報効果測定の最前線」		13875	2019.11/20 10:00開講 NOMA
企業(団体)名	フリガナ	TEL		<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 一般	(該当にレ印をつけて下さい)
所在地	〒	FAX		業種	
参加者氏名		所属・役職	早・複製	メールアドレス	
フリガナ			早・複	e-mail:	
フリガナ			早・複	e-mail:	
フリガナ			早・複	e-mail:	
派遣責任者	フリガナ	所属・役職	メールアドレス	e-mail:	

参加申込書にご記入いただいた情報は、以下の目的に使用させていただきます。
①参加券や請求書の発送などの事務処理 ②広報関連セミナーなど本会事業のご案内 ※なお、②がご不要の場合は□にチェックしてください。□不要 ※今後eメールによるご案内も予定しています。ご希望の方は、ご記入ください。

事例から学ぶ“広報力”と広報効果測定の前線

プログラム内容

1. 報道分析と広報効果測定

- (1) 統計からわかるメディアの傾向
- (2) 報道分析の目的と報道分析を行う上での心得
- (3) 広報効果のさまざまな測定法
- (4) 単独主役記事と脇役参考記事の峻別
- (5) 論調判断の方法
- (6) 記事に含まれる商品名などのアイテム抽出
- (7) テレビとニュースサイトの分析方法
- (8) 記事数とスペースなどから算出する「露出指数」
- (9) 記事の論調を数値化した「論調指標」
- (10) 記事を広告と見なした場合の「広告料金値」
- (11) 「広報効果測定値ETAモデル」の算出
- (12) 報告書の事例

2. 情報発信のパワーを高める“情報力”

- (1) 業界トップへ導いたアサヒビールの情報力
- (2) バンダイ「∞プチプチ」の情報力
- (3) 佐川急便グループのイメージアップPR
- (4) 近畿大学のコミュニケーション戦略
- (5) ニュース素材とリリースのチェックポイント
- (6) ニュースリリース文章の原則
- (7) パソナキャリアのトップ広報
- (8) スクープを連発する週刊誌の進行と編集体制
- (9) 事前・取材時・事後における取材対応の原則
- (10) 記者が取材したくなる企業・団体とは

3. 企業の苦境を救った“広報力”

- (1) 「広報は営業だ」に徹したANA
- (2) 認知度向上プロジェクトを推進した帝人
- (3) 信頼回復に導いたバンダイのニュースレター
- (4) 西武のインターナルコミュニケーション
- (5) J&Jのタイレノール毒薬混入事件
- (6) 日揮のアルジェリア人質事件
- (7) 危機管理の3つの局面と平時のリスク対策
- (8) 緊急時における広報担当者の心得
- (9) リスクレベルの判断とステートメント作成
- (10) 緊急時の取材対応の原則
- (11) 緊急時にトップに伝えておきたいこと
- (12) 緊急時の成功要因と失敗要因

4. 情報発信の方法と広報力

- (1) 情報発信手段と広報ツールのポジショニング
- (2) 新4大メディアとPESOの時代
- (3) リレーションズ効果を発揮する「ニュースレター」
- (4) 記者が喜ぶ「手帳型ファクトブック」
- (5) ロイヤルティの醸成に役立つ「社史・年史」
- (6) PRの原点「企業出版」のパブリシティ効果
- (7) 伊藤園「お〜いお茶新俳句大賞」のPR効果
- (8) 講談社、フレーベル館のPRキャンペーン
- (9) 広報力を高めるためのプロセス
- (10) 優れた広報力とは何か

左記プログラムは都合により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

講師プロフィール

広報コンサルタント、ジャーナリスト、
（株）タカオ・アソシエイツ 代表取締役社長 **高雄 宏政**（たかお ひろまさ）氏

同志社大学工学部卒。製薬会社、業界紙記者を経てフリージャーナリストに。「週刊ポスト」などの週刊誌や月刊誌でルポルタージュを発表し、ベトナムでサイゴン陥落を取材。1978年に編集制作・広報支援会社を設立し、現在に至る。この間、ジャーナリストとしてビジネス誌などに連載記事を執筆する一方で、報道分析の開発、企業出版の制作などを行い、「PRアワードグランプリ スキル部門賞」「日本編集制作大賞 企業出版部門賞」など数々の賞を受賞。一般社団法人日本編集制作協会理事、公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会理事などを歴任。2018年度PRアワードグランプリ審査委員、広報学会会員。

著書に「広報が会社を強くする」「戦務が組織を動かす」「リーダーの決断」「企業出版の研究」「高度情報システム化時代に生き残るための必須知識」「広報活動の手引き」、共著に「広報の仕掛人たち」「企業イメージと広報」「マーケティング・コミュニケーション大辞典」などがある。

※出張研修も承っております。表面のお申込先までお問い合わせ下さい。